

## S.C.WORKS 今週のスタディ！

### 【ヘッドライン】

- 1) 「家庭でできる温暖化対策、“かんきょう家計簿”」
- 2) 「1秒の世界」
- 3) 「あなたの眠りを採点？」
- 4) 「今どきのトレンドランキング」

---

#### 1) 「家庭でできる温暖化対策、“かんきょう家計簿”」

地球温暖化問題に関心を持ってもらうため、「かんきょう家計簿」というものを香川県などが作成している。

光熱費の使用量から家庭での二酸化炭素排出量をチェックできるカレンダー形式で、地球に優しい暮らしの参考にしようという目的。

かんきょう家計簿は、1999年版から毎年作製しており、電気・ガス・水道・灯油・ガソリン・軽油の使用量と料金を毎月記録し、各項目に係数を掛けると二酸化炭素の排出量が算出できる。

1ヶ月ごとに環境に関する読み物が掲載されている。

今月から京都議定書の約束期間が始まったことから、1月のページで温室効果ガスの排出削減目標を紹介したり、「木づかい推進月間」の10月には県産木材の利用を呼び掛けている。

日本は、2008年から2012年にかけてCO<sub>2</sub>を6%削減することが義務付けられている。1人1人の意識がないと削減は進まないが、このように手軽に参加できる分かりやすいツールをもっと全国的に広めることが必要ではないか。また、学校などでも取り上げて、子供から親へ伝えるのも良い手段だと思う。

---

#### 2) 「一秒の世界」

TV番組 2008/01/12 MBS 19:00~

地球環境の問題などあらゆる現象を“1秒”という時間で区切ってみせることで新しい発見や驚きを伝える『1秒の世界』。東京大学・生産技術研究所教授 山本良一 監修。

サウジアラビアでは1秒間で15000リットルの石油が生産され、日本では1秒間でその半分の7500リットルを消費しています。

日本では1秒間に600kgの食べ物が捨てられ、世界では1秒間に0.3人、4秒間で1人が飢えによって命を落としています。

「1秒」から紐解いた地球の「今」そして「未来」について話し合います。

番組を4題目で構成しており、うち3題目が環境問題でした。

【大自然の1秒「温暖化といのち」】～ドキュメント・ホッキョクグマの1秒～  
世界では“1秒”に0.002種、7分に1種の生物が全滅しています。極寒の地に生息する動物の代表格ともいえるホッキョクグマ。そのホッキョクグマが直面している“いのちの1秒”について。

【戦争の1秒「戦争と環境」】～軍隊を捨てた国・コスタリカ～  
世界では“1秒”に420万円もの軍事費が使われています。温暖化の原因、二酸化炭素を最も排出するのは実は戦争であり、世界では軍事費に多額のお金が使われています。人間一人が一生で排出する二酸化炭素をF16戦闘機ではたった8時間飛ぶだけで排出しているのです。そんな中、戦争と軍隊を放棄した中南米のコスタリカ。いまや世界でも最も環境について進んでいる環境推進国を紹介。

【ゴミの1秒 地球の悲鳴「海洋汚染」】～漂着ゴミに埋もれる島（対馬）～  
世界では1秒に1.5トンものゴミが捨てられています。1秒に約22キロのゴミが海岸に漂着している日本。発砲スチロールやペットボトル、医療廃棄物など様々な漂着ゴミが及ぼしている現状を紹介。

2008年からは京都議定書の約束期間ということもあり、日本や世界規模の環境問題番組がニュースや情報番組のみならず、こういったバラエティ番組でも取り上げられる年となりそうです。こういった動きの中で、個人単位での取り組みが今後重要視されることだと思われれます。

---

### 3) 「あなたの眠りを採点？」

大阪バイオサイエンス研究所(大阪府吹田市)は、耳に装着して脳波を測り、睡眠の状態を調べる携帯型の睡眠計の試作品を完成させた。

この測定器では睡眠の質と量を正確に把握して点数化することも可能だ。

通常、睡眠の状態を知るためには病院などで大掛かりな装置を使い、多数の電極を装着してしか計測が出来なかったが、この「睡眠計」では、睡眠時に耳に脳波計をつけ、得たデータを携帯電話などを介して「睡眠解析センター(仮称)」に伝送、点数化した解析結果を数分で返送できるシステムを作る予定だという。

これにより、不眠症の人が自分に合う睡眠導入剤の選別に利用したり、一定の点数以下では車の運転をやめたりと、様々な用途で活用できるとして、2年以内の実用化をめざす。

健康、体づくり事業財団などの調査では、日本人の4～5人に1人が不眠と回答し、60歳以上では約30%に上る。睡眠の状態を知ることが、睡眠障害が引き金となるようなうつ病、循環器の病気などの予防に役立つ。

今後この測定器が実用化されれば、様々な睡眠タイプの人それぞれに合ったサプリメントなど、新しい健康補助食品などの商品もできそう。

#### 4) 「食品のトレンドランキング」

日経トレンドネットでは、「玉子かけご飯」から「アイスクリーム」専用まで”個性派醤油” 50本を食べ比べなどして総チェックを行った。

誰もが食に対して強い関心を持つ昨今、食品は時代に合わせて変化を見せている。

日本の伝統調味料の代表でもある”醤油”に関して言えば”専用醤油”なるものを多く見かける。これは、「焼き魚」「玉子かけご飯」など用途を限定した味付けがされているという。それらを、細かい味の特徴や、商品の発祥などの情報と共に紹介しているのである。

このような、商品1つに莫大な種類があるものの調査を大きく行うというのは、実際にこれらの商品を取り扱うスーパーなどの店舗ではなかなか難しい。

しかしこのような雑誌やネットなどのデータを利用すれば、店頭での新たな販促につなげられるのではないか。

関連 URL

<http://trendy.nikkeibp.co.jp/article/special/20071227/1005793/?P=1>